

「キャンパス・アジア」モニタリング委員会（第2回）議事要旨

日 時 平成26年1月14日（火） 14:00～17:00

場 所 学術総合センター11階 1112会議室

出席者

（委員） 佐藤委員、中島委員、二宮委員、平野委員、牟田委員、
岡本委員、林委員 （欠席：田中委員）

（オブザーバー） 佐藤高等教育局高等教育企画課国際企画室専門官（文部科学省）、
梶山人材育成事業部長（日本学術振興会）

（事務局） 野上機構長、武市研究開発部長、鈴木研究開発部評価研究主幹、
土屋研究開発部教授、児島評価事業部長、秦国際課長 外

会議の概要

1. 採択プログラムの1次モニタリング結果について

（1）各採択プログラムにかかるモニタリング報告書（案）について

これまでの日本側の1次モニタリングの活動状況の報告を受けた後、モニタリング専門部会がまとめたモニタリング報告書（案）の構成について確認し、各採択プログラムの報告書（案）について審議した。審議の結果、報告書は案のとおり承認された。なお、採択プログラムへの通知等の手続きをモニタリング事務局で進めることとした。

（2）モニタリング専門部会委員の公表等について

モニタリング報告書の公表とあわせて専門委員の氏名をウェブサイト等で公表することなどについて確認された。

（3）学生会ワークショップと学生意見書について

はじめに、事務局より、平成25年12月に開催した学生会ワークショップの概略の紹介があった。続いて、ワークショップ当日の記録映像を交え、学生会を代表して5名の学生より、学生会としてまとめた意見書について報告があった。学生会の意見は、関係者で共有し、十分に尊重して、2次モニタリングに活用していくことにした。

2. 1次モニタリング結果の普及にむけた取組みについて

副委員長より、日本における1次モニタリングの普及にむけた今後の取組みについて説明があり、案のとおり承認された。

3. モニタリングに関する今後の予定について

事務局より、モニタリングに関する今後の予定等について説明があった。なお、次回のモニタリング委員会（第3回）は平成26年度に開催することです承された。

以上